

報告事項No 1 請願第 2 号

川崎市教育委員会

平成 28 年 6 月 15 日

~~委員長 梶 正大 様~~
教育長 渡邊 直美

図書館に於ける「慰安婦」に関し虚偽の記述がある書籍の閉架を求める請願

住所 : 川崎市多摩区 [REDACTED]

氏名 : 宮入 紀彦

日中の連絡先 : [REDACTED]

1. 請願事項

朝日新聞が認めた「慰安婦問題の誤報」と同様の虚偽の記述のある書籍を市内の図書館(学校図書館を含む)に於いて閉架していただきたい。

2. 請願の理由

朝日新聞は平成 26 年 8 月 5 日の紙面で、慰安婦問題に関する同社の報道に「事実関係の誤りがあった」とし、問題の核心をなす下記の 3 点を認めました。

- ① 慰安婦を強制連行したとする吉田清治証言を、初めて「虚偽」であると断定し、関連記事 16 点を取り消した。
- ② 女性を戦時動員した「女子勤労挺身隊」と慰安婦を同一視した記事の誤りを認めた。
- ③ 朝鮮や台湾では「軍などが組織的に人さらいのように連行した資料は見つかっていません」と認めた。

この 32 年間にわたる誤報の結果、我が国及び国民の名誉と尊厳が傷付けられ国益が侵害されました。

朝日新聞の慰安婦報道は、韓国に不当な対日要求の材料を与えたばかりでなく、この間に国連を通じて国際舞台に持ち込まれ、今や強制連行どころか「慰安婦＝性奴隷」説が広く信じられ、アメリカ各地に日本を侮辱する慰安婦像が設置されるという事態に至っております。

このような朝日新聞が認めた「慰安婦問題の誤報」と同様の虚偽の記述のある書籍により川崎市民(特に若い人達)が誤った認識をしないよう、これらの書籍を市内の図書館(学校図書館を含む)に於いて閉架していただきますよう請願致します。



以上